

令和5年度 学校研究概要

1 学校研究全体計画

(1) 研究主題

自ら考え 学びを深める子の育成

～「かく」ことで思考を深める算数科の授業づくり～

(2) 主題設定の理由

本校は、「主体的に考え行動し、共に高め合う児童の育成」という教育目標のもと、めざす児童像を『じ・も・と』で育つあらやの子」として教育活動に取り組んでいる。

「主体的に考え、共に高め合う子」に迫るため、算数科を中心に、児童が「自ら考え 学びを深める子の育成」につながる授業づくりを研究してきた。ここでいう、学びを深める姿とは、自分の考えを表し、互いの思いや考えを尊重し、考えを再構築する姿である。

ここまでの研究の成果として、児童アンケートの項目「算数の授業で式や図をかくことはできましたか」「算数の授業で自分の考えを言葉でかくことはできましたか」「算数の授業でまとめやふりかえりをかくことはできましたか」の肯定的回答が5月から12月にかけて上昇したことである。ノートを見ると、以前より自分の考えをかいたり吹き出しで式を説明したりと書くことに対して抵抗が少なくなってきたようである。教員アンケートは「算数の授業でまとめやふりかえりをかくことはできましたか」の項目の達成率が高くなったことである。しかし、児童の学力は2極化し、単元末テストの達成率も高いとはいえない状況である。

そこで今年度も研究主題を「自ら考え 学びを深める子の育成～『かく』ことで思考を深める算数科の授業づくり～」とし、「つけたい力を明確にした単元構想」、「自分の考えを書いて表す力の育成」、「学びの深まりを実感できる場面作り」の3つの視点を中心に研究を進める。重点を「つけたい力を明確にした単元構想」とし、単元のゴールの姿を明確にし、検証問題を設定し、ゴールに向かって単元を構成する。そのことで、児童に確実に力がつき、できる喜びを味わってほしい。算数科を中心に研究を進め、研究の成果を他教科に広げ、学びを深めることを実感する児童の育成につなげられればと考えている。

(3) めざす児童の姿

- ①進んで学習に取り組み、自分の考えを表現する子
- ②互いの思いや考えを尊重し、共に学び、深め合える子

2. 研究構想図

教育目標

「主体的に考え行動し、共に高め合う児童の育成」

研究主題

自ら考え 学びを深める子の育成
～「かく」ことで思考を深める算数科の授業づくり～

目指す児童像

- ①進んで学習に取り組み、自分の考えを表現する子
- ②互いの思いや考えを尊重し、共に学び、深め合える子

算数科の授業づくり

視点1

つけたい力を明確にした単元構想

視点2

自分の考えをかいて表す力の育成

視点3

学びの深まりを実感できる場面づくり

授業づくりの手立て

1. 単元構想
2. 課題設定・提示の工夫
3. 課題解決のための見通し
4. 自分の考えの表現
5. 聴き合う力の育成
6. 問い返しやゆさぶりの工夫
7. 全員にアウトプットの機会の確保

学習を支える取組

授業のスタイル あたたかな話し方、あたたかな聴き方
朝学習 家庭学習 自学

人間関係づくり

生徒指導の3機能 学校行事 児童会活動 異学年交流